



T.Miki

## THE COPA REPUBLICA ARGENTINA

## 第63回 アルゼンチン共和国杯 (GII)

1着 本賞 57,000,000円 付加賞 1,274,000円  
2着 23,000,000円 364,000円  
3着 14,000,000円 182,000円  
4着 8,600,000円  
5着 5,700,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

3歳以上、2024.11.2以降2025.11.2まで1回以上出走馬、除外未出走馬および未勝利馬  
負担重量 ハンデキャップ

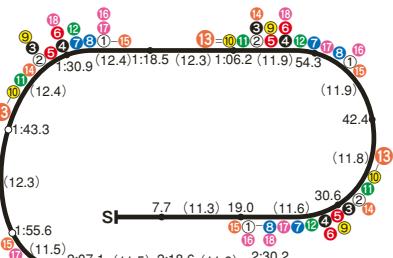
2025.11.9 東京 番・良 芝2500m (国際) 特指

順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	調教師	レーティング
						(着差)	通過順位	(600m)	(増減)	オッズ		
1	13	ミスティーリー	7	56	松本大輝	2:30.2	1-1-1-1	34.6	500(-2)	27.7(8)	小林真也(栗東)	107
2	10	スティンガーグラス	牡4	57	C.ルメール	%	14-9-9-8	34.2	474(-8)	3.4(1)	木村哲也(美浦)	108
3	6	ディマイザキッド	牡4	56	岩田望来	アタマ	9-9-9-10	34.1	464(±0)	5.4(3)	清水英克(美浦)	106
4	5	セレシオン	牡6	57	荻野 極	%	7-7-8-8	34.3	470(-2)	25.2(8)	友道康夫(栗東)	107
5	7	ショトルーヴェ	駆6	59	駒島克駿	クビ	12-13-12-14	34.0	480(+2)	12.0(6)	堀宣行(美浦)	
6	11	ホーエリーエ	牝4	55.5	戸崎圭太	ハナ	3-3-3-2	34.7	482(+10)	4.2(2)	田島俊明(美浦)	
7	10	マイネルカンパーナ	牡5	56	津村明秀	アタマ	2-2-2-2	34.7	412(+6)	30.7(0)	青木孝文(美浦)	
8	8	ボーンディスウェイ	牡6	57	木幡巧也	クビ	14-15-14-12	34.1	496(±0)	41.0(2)	牧 光二(美浦)	
9	16	ニシノルヴァント	駆5	56.5	野中悠太郎	クビ	16-16-15-14	34.0	486(+6)	15.6(7)	上原博之(美浦)	
10	12	ブラダリア	牡6	58	亀田温心	%	11-12-12-12	34.3	468(±0)	58.1(8)	池添 学(栗東)	
11	14	ボルドグフーシュ	牡6	58	横山武史	クビ	4-4-4-2	34.9	510(±0)	10.9(4)	宮本 博(栗東)	
12	3	ローシャムパーク	牡6	59.5	A.ブッシュ	クビ	6-4-5-6	34.6	502(+4)	11.4(5)	田中博康(美浦)	
13	17	ハギノアルデバラン	牡5	52	原 優介	クビ	13-14-15-17	34.1	502(±0)	36.8(1)	佐藤悠太(栗東)	
14	4	サスツルギ	駆5	54	北村宏司	%	9-9-9-10	34.6	484(+10)	190.2(6)	千葉直人(美浦)	
15	1	ワイドエンペラー	牡7	55	藤岡佑介	ハナ	16-16-15-14	34.3	496(±0)	52.7(3)	藤岡健一(栗東)	
16	15	メイショウウブレグ	牡6	55	石橋 梢	%	18-18-18-18	34.3	470(-4)	192.3(7)	本田 優(栗東)	
17	9	ショウナンアディブ	牡5	55	池添謙一	4	7-7-5-5	36.0	506(-10)	177.1(6)	高野友和(栗東)	
18	2	ギャラクシーナイト	牡6	54	菅原明良	3	4-4-5-6	36.4	510(+2)	193.9(8)	菊澤隆徳(美浦)	

単勝⑬2,770円(9%) 複勝⑬550円(10%) ⑩⑪80円(2%) ⑥200円(3%) 枠連⑦-⑧1,120円(4%)

馬連⑩-⑪7,050円(25%) ワイド⑬-⑭2,260円(28%) ⑥-⑬2,440円(32%) ⑥-⑬680円(3%)

馬単⑩-⑪16,850円(62%) 3連複⑬-⑭-⑪11,560円(34%) 3連単⑬-⑭-⑬101,470円(323%)



通過タイム : 700m 900m 1100m 上り : 800m 600m  
42.4 - 54.3 - 1:06.2 46.9 - 34.6

### アラカルト

- 松本大輝騎手はJRA重賞初勝利
- 小林真也調教師はアルゼンチン共和国杯初勝利。JRA重賞は25年ぶり初勝利、通算2勝目
- ジャスタウェイ産駒はJRA重賞通算11勝目
- 7歳馬の勝利は初
- 駆馬の勝利は初

# ミステリーウェイ *Mystery Way*

驅 黒鹿毛 2018.3.12生  
北海道千歳市 社台ファーム生産  
馬主・(有)社台レースホース 栗東・小林真也厩舎  
馬名意味・神秘的な道

ジプシーハイウェイIRE系 F7-a	
ジャスタウェイ 鹿毛 2009	ハーツクライ 鹿毛 2001
	アイリッシュダンス
ジプシーハイウェイIRE Gypsy Highway 鹿毛 2008	シビル 鹿毛 1999
	Wild Again
ジプシーハイウェイIRE Gypsy Highway 鹿毛 2008	
	シャロンUSA
ジプシーハイウェイIRE Gypsy Highway 鹿毛 2008	High Chaparral 鹿毛 1999
	Sadler's Wells
ジプシーハイウェイIRE Gypsy Highway 鹿毛 2008	
	Kasora
ジプシーハイウェイIRE Gypsy Highway 鹿毛 2008	Rose Gypsy 鹿毛 1998
	Green Desert
ジプシーハイウェイIRE Gypsy Highway 鹿毛 2008	
	Krisalya

5代までのインブリード: Northern Dancer M4×M5  
Kris M4×M5 Nearctic S5×M5

## INTERVIEW

石井猛 牡馬調教主任(社台ファーム)

本当に力をつけているのだと思います

夏前から千歳で調整し、今夏は札幌競馬場に入厩して10日で丹頂Sを勝ち、我々としてもずいぶん自信となる成果を得ることができました。今回も強敵相手に自分のレースに徹して勝ち切ってくれたのですから、本当に力をついているのだと思います。松本騎手がこの馬の実力を疑うことなく乗ってくれたことが何より嬉しかったです！ 心強かったです。



それでも7歳3月に3勝クラスを卒業すると、松本騎手と初「コンビ」を組んだ前走の丹頂Sも大逃げの戦法で快勝、昇級2戦目でオープン初勝利を挙げた。弾みをつけて重賞に挑んだこの日も、ゆっくりと力をつけてきた歩みにも重なる“一枚腰”を發揮して連勝。絶妙なペース配分で勝利に導いたデビュー5年目の松本騎手と人馬揃って、初の黙黙賞を手中に収めた。

## 父ジャスタウェイ

北海道浦河町 (有)社台コーポレーション白老ファーム生産 中央、首、仏22戦6勝(天皇賞(秋)<sup>G1</sup>、ドバイデューティフリー・首<sup>G1</sup>、安田記念<sup>G1</sup>、中山記念<sup>G1</sup>、アーリントンC<sup>G1</sup>、ジャパンC<sup>G1</sup>2着)、最優秀4歳以上牡馬、15年から供用(代表産駒)ダノンザキッド(ホープフルS<sup>G1</sup>)、テオレーマ(ABCレディスクラシックJpn<sup>I</sup>)、ミステリーウェイ(本馬)、ガストリック(東京スポーツ杯2歳S<sup>G1</sup>)、エーポス(フィリーズレブリュー<sup>G1</sup>)、マスターフェンサー(名古屋グランプリJpn<sup>II</sup>)、ヴェルテックス(名古屋グランプリJpn<sup>II</sup>)、ヤマニンウルス(東海S<sup>G1</sup>)、アドマイヤジャスタ(函館記念<sup>G1</sup>)、アウイルアウェイ(シルクロードS<sup>G1</sup>)、ロードマイウェイ(チャレンジC<sup>G1</sup>)、コレペティートル(京都金杯<sup>G1</sup>)、ヴェロックス(若葉S・L、若駒S・L、皐月賞<sup>G1</sup>2着)、日本ダービー<sup>G1</sup>3着)、アーリングウェイ(エルフィンS・L)、カリボール(パラダイスS・L)、ハーフバッブ(オーロC・L)、ポッドボレット(すみれS・L)

母ジプシーハイウェイIRE

仏13戦2勝(ミエスク賞G32着、リュートアンシャンテ賞・仏L3着)13年輸入  
モンテエイネン(14 牡父ダイワメジャー)中央3戦0勝

アマルフィコスト(15 牝父ダイワメジャー)中央23戦2勝(中京2歳S⑩、  
阪神牝馬S⑩2着、京都牝馬S⑩3着、ファンタジーS⑩3着、ポート  
アイランズS・L3着)

コルデトゥリーニ(16 牝父ダイワメジャー)中央5戦1勝

コースタルチャート(17 牝父スピルバーグ)中央6戦0勝、地方58戦2勝

**ミステリーウェイ** 本馬(18 駆父ジャスタウェイ)中央36戦6勝(アルゼンチン共和国杯GII、丹頂S⑩、御堂筋S、札幌日刊スポーツ杯)  
進路候補券100,000円

獲得總資金190,668

(19 牝父ハーツクライ)  
イティネラートル(20 牝父キズナ)中央17戦3勝(舞子特別、りんどう賞)

ディーガレジ

(22 不受胎)

### レフィノス(23 牡父シ

(24 牡父エピフ)

(25 牝父キズナ)

7歳驅馬が一枚腰  
トップハンデ59・5キロを課されたローシャムバークをはじめとする美健賞上位馬を従え、アルゼンチン共和国杯は重賞未勝利の4歳馬3頭が中心競争力を形成。7月の札幌日経賞でオープン初勝利を挙げたステインガーグラスが頭ひとつ抜けた支持を集め、同舞台で目黒記念でクビ差の2着に食い下がった紅一点のホーエリート、函館記念で走り、毎日王冠も4着とタイトルを射程に收めるディマイマイザキッドがこれに続いた。とはいっても勝利を飾ったのは0番人気の伏兵。7歳驅馬のミスティックは、ウエイギがしぶとい粘り腰を印象付け、逃げ切った。

スタートを決めて軽快に飛び出した!!  
ステリーウェイと松本大輝騎手のコンビがスンナリと先制。ベースをあまり緩めずに風を切った逃げ馬と、2番手以下の各馬の差は次第に広がり、大逃げの形勢でレースは進む。3番手についたホーエリートに対し、スティンガーグラスは序盤の後方から徐々に位置を上げ、中団を追走。ティマイザキッドはその後で末脚を温存した。

4コーナーに差し掛かると、徐々に差を詰めてきた後続が背後に接近。しかし向正面半ばからペースを落とし、息を入れたミステリーウェイにはまだ十分な余力が残っていた。直線の坂下、松本騎手が満を持して追い出すと、並

7歳驅馬が「一枚腰」を發揮し重賞初制覇